

山田 源 博士

和歌山県立医科大学 先端医学研究所
遺伝子制御学研究部 教授

生殖器官形成機構の 解明から性差を考える

2015年9月2日 水曜日

16:30 - 18:00

疾患プロテオゲノム研究センター
1F 交流ホール

私たちのからだは、多くの部位において性差を示します。生殖器官は、その中でも際立って性差を顕著に示す器官です。山田教授らは、マウスをモデルに、外生殖器を含む生殖器官の形成機構を長年研究してきておられます。外生殖器では、胎児後端に雌雄同じ器官原基が形成され、それが胎生中期以降に雄型または雌型へと分化します。このような器官形成機構は、初期発生の制御遺伝子群及び男性ホルモンを中心とするホルモンシグナルとのクロストークに依存するという特徴を持っています。本講義では、外部生殖器形成の特徴を主題に、発生制御遺伝子の寄与や下流分子の解析、更には胸腺や口蓋など他の器官形成における性差についても論考いただきます。多数のご参加をお待ちしています。